

## カラカネハナカミキリ

カミキリムシたちは森林性の昆虫で幼虫はもっぱら樹木の木質部を食べます。その意味で森林の変遷に深く係わっています。種類数も多く「札幌の昆虫」図鑑には 117 種が記載されています。体型は細長で触覚が長いのでわかりやすいのです。木質部を齧る必要から強くて大きい顎が特徴でもあります。美しい色やサイケな模様が楽しい昆虫です。

ハルザキヤマガラシの花に来たカラカネハナカミキリに出会いました(2012年5月21日)。こ



この花には蜜や花粉が美味しいらしく、いろいろな虫たちが集まります。菜の花を縮小したような植物ですがタンポポの黄色とはまた違った黄色い花の群落をつくれますので、この花をみつけたら近寄って見て下さい。楽しい出会いがあるでしょう。

カラカネハナカミキリは体長は 8~15 ミリとかなり幅がありますし、この固体は金属光沢の赤銅色をしています。色のバリエーションに幅があり濃紺から赤銅までの中間色を装いますので、色違いにも気をつけてください。下図をご覧ください。これらが皆同じ種類だとは、凄いです。ハナムグリやオサムシたちもこれに似たような色違いがあります。虫の世界は深いものがありますねー。

分布は日本全土から千島列島とされています。また何でも来いの食べぶりで北海道の場合、針葉樹ではウラジロモミ、トウヒ、カラムツ、アカマツ。広葉樹ではクルミ類、ミズキ類、カエデ類など雑食(?)性です。澄川には食樹がたくさんありますので、この虫との出会いの機会が多いと思います。

